

淀川水系淀川右岸ブロックの流域の概要について（概要版）

流域の概要

○淀川右岸ブロックは、芥川流域、榎尾川流域、水無瀬川流域、年谷川で構成

＜芥川流域＞（芥川、女瀬川、真如寺川、東山川、西山川、田能川の6河川）

- 流域面積 61.7km²
- 一級指定区間延長 31.6km
- 芥川は上流の一部に京都府を含み、大阪府高槻市のほぼ中央を北から南に流れ、淀川右岸に合流

＜榎尾川流域＞（榎尾川、東榎尾川の2河川）

- 流域面積 15.5km²
- 一級指定区間延長 7.0km
- 榎尾川は全域高槻市に含まれ、同市の東部を北から南へ流れ淀川右岸に合流

＜水無瀬川流域＞ 水無瀬川

- 流域面積 17.2km²
- 一級指定区間延長 4.0km
- 島本町を流れ、淀川右岸に合流

＜年谷川＞

- 流域面積 3.2km²
- 一級指定区間延長 1.4km
- 大阪府から京都府へ流れる

河川名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
芥川	47.5	19.3
女瀬川	4.4	6.0
真如寺川	1.2	1.0
西山川	2.2	0.9
東山川	1.2	0.7
田能川	5.2	3.7
榎尾川	11.7	6.2
東榎尾川	3.8	0.8
水無瀬川	17.2	4.0
年谷川	3.2	1.4

- 流域の約80%を山地が占めており、上流域は自然豊かな環境
- 丘陵地まで宅地開発による市街化が進み、下流域は人口・資産が集積
- 中流域に、名神高速道路、国道171号、JR東海道本線、阪急京都線、東海道新幹線が整備されており、交通の要衝となっている
- 下流域は度重なる洪水対策により、築堤区間となっている

自然環境

- 植物…上流域の山間部ではアベマキ・コナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林が存在する。中・下流域の平地では水田雑草群落が点在
- 魚類…貴重種はメダカやドジョウ等を確認
- 底生動物…貴重種はカワナ、モノアラガイ、ホンサナエなど、外来種はサカマキガイ、アメリカザリガニ等を確認
- 鳥類…貴重種はヤマセミ、カワガラス、オオヨシキリ等を確認
- 昆虫類…渓流にすむオオムラサキ、ムカシトンボ等を確認、中流域ではゲンシボタルやその餌となるカワナを確認

河川の特徴

- 下流域…市街地の中を流れ、芥川はブロック積や石積による護岸、榎尾川は低水路部が矢板護岸で上部がブロック護岸、水無瀬川はブロック護岸で形成
- 中・上流域…山間部の中を流れ、瀬と淵が形成されるなど変化に富む流れ

空間利用

- 空間利用…芥川において、防災ステーション、あくあび芥川、桜堤公園、水無瀬川において東大寺公園が整備されており、河川周辺の空間利用が行われている。



- 地域連携…NPO法人等と連携し、「魚みちの整備」、「ミスヒマワリの駆除活動」、「クリーンアップ大作戦」および「水辺の学校」などの活動が行われている。



治水の現状と課題

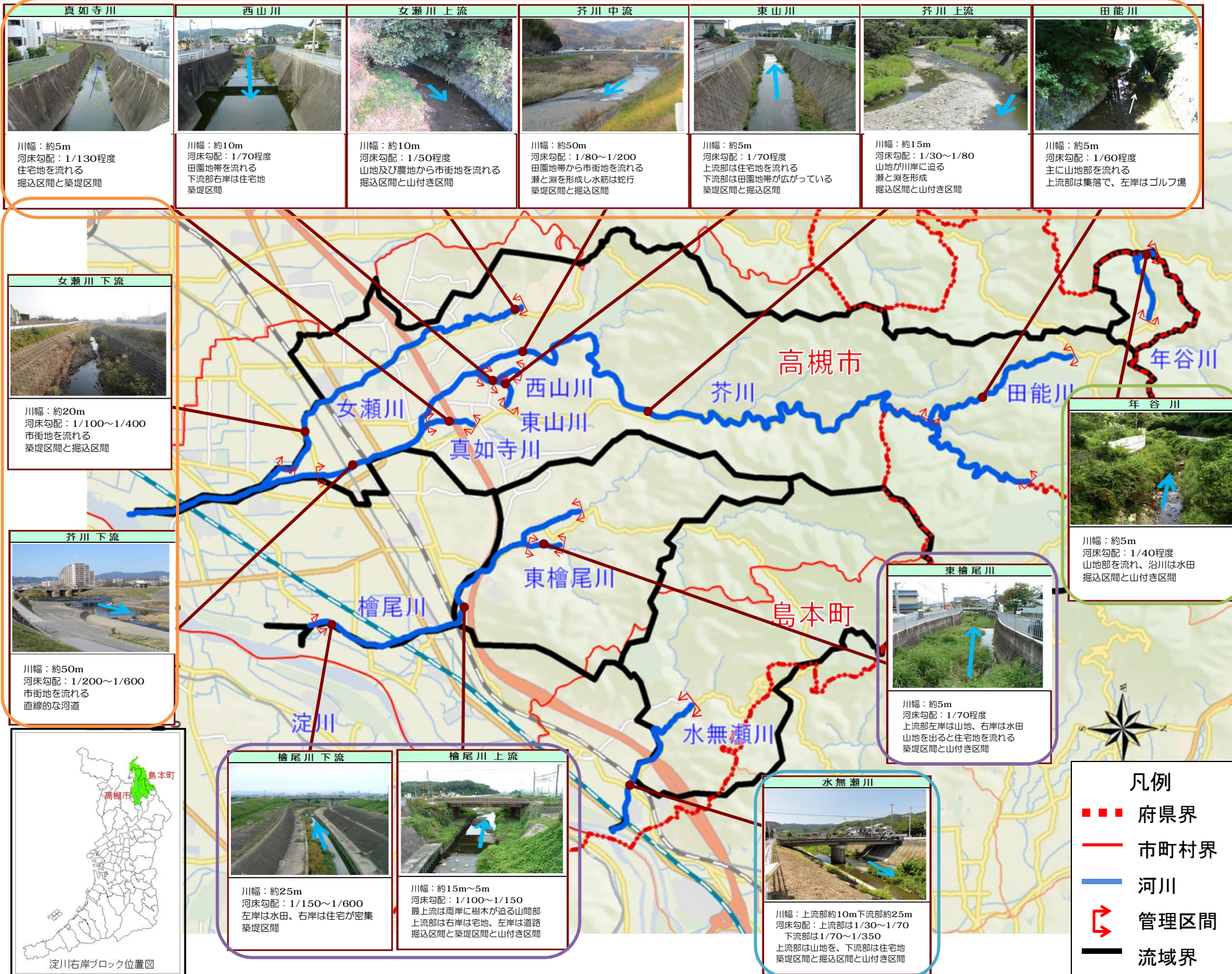
治水事業の沿革

- 昭和28年 9月の台風13号による被害（浸水家屋数6570戸、水稲冠水611ha）
- 昭和35年 芥川において昭和35年度全体計画を作成し改修に着手
- 昭和54年 榎尾川、水無瀬川において全体計画に基づく改修に着手
- 平成8年 芥川河川防災ステーションの整備に着手
- 平成16年 淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画策定

- 淀川と合流する下流平地部は度重なる洪水対策により、築堤区間があり、被害ポテンシャルが高い
- 芥川については、JR橋梁下流まで80mm対策が完了し、それより上流は50mm対策が完了
- 東榎尾川については、50mm対策のための整備を進めている。
- 平成24年8月14日の豪雨によって、内水被害が発生し、1594戸が冠水
- 護岸の老朽化が進んでいる

河川利用と河川環境の現状と課題

- 水利用…河川水は堰等により取水され、農業用水として利用（47箇所）
- 水質…芥川および水無瀬川の水質汚濁の環境基準値はアコ等が生き可能なA類型、榎尾川はB類型であり、水質は改善されてきている
- 地域住民の河川への関心は高く、芥川や水無瀬川では早期に親水空間整備がなされており、地域活動も盛んであるため、今後もこの良好な環境を維持していく必要がある。
- 農業用水等による堰や落差工により、河川縦断の連続性が阻害されている



平成25年1月21日(月)に配布した資料に誤りがありましたので、修正したものを掲載しております

修正内容	修正箇所	修正前	修正後
河床勾配の記述	真如寺川	1/35 程度	1/130 程度
	西山川	1/80~1/140	1/70 程度
	芥川中流	1/80~1/400	1/80~1/200
	東山川	1/40 程度	1/70 程度
	女瀬川下流	1/100 程度	1/100~1/400
	芥川下流	1/400~1/600	1/200~1/600
	檜尾川下流	1/300~1/600	1/150~1/600
	檜尾川上流	1/200~1/250	1/100~1/150
	水無瀬川	上流部は 1/30 程度、下流部は 1/100~1/200	上流部は 1/30~1/70、下流部は 1/70~1/350
	東檜尾川	1/20 程度	1/70 程度
	年谷川	1/50 程度	1/40 程度
植生に関する記述	自然環境（植生）	上流域の山間部ではヤブムラサキ・コナラ群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林、常緑広葉樹植林、およびコナラ群落、ヒメアオキ-ウラジロガシ群落が存在する。平地には水田雑草群落が存在する。	上流域の山間部ではアベマキ・コナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林が存在する。中・下流域の平地では水田雑草群落が存在する。
誤字	河川の特徴（中・下流域）	澗	淵
誤字	空間利用（空間利用）	アクアピア芥川	あくあびあ芥川